

萩原資料

	ページ	行目	指摘箇所	意見
総論的事項	3	28	個々の選抜の責任主体である大学関係者との協議	高校関係者との協議と明確に記載すべき。
	4	11	③共通テストと個別試験との役割分担等を意識した検討	大学入試センターの経営上の課題と共通テストの安定的な実施が必要である。そのための取組を国はすべき。
	5	3	②面接試験におけるオンライン化の進展	高等学校も環境整備が十分でない。
	5	18	会議体の常設化、協議のプロセスの透明性の確保、構成メンバーの代表性の明確化等…	このとおり、通年で会議体を設定するべきである。
	5	14	②オンライン面接等の推進	高等学校の環境も、地域や学校による差は大きく、十分に整備がなされているわけではない。十分な配慮が必要である。 一人PC1台体制はGIGASクール構想に基づくもので、高校は環境整備に地域間格差がみられる。
	7	6	①各大学の入試情報の公表	試験問題や正答例、出題の意図、受験状況などのデータ等を公表していただけると、今後の生徒指導に役立つのでお願いしたい。
英語4技能の総合的育成・評価のあり方について	7	③④		個別試験で検定試験結果を活用するならば、各大学が自校のアドミッションポリシーに基づき、事前に活用方法や評価方法を明確に示す説明責任が伴う。受験生にとって合理的な理由のある活用方法を望む。
4月28日付大臣への要望書	—	—	1・5 試験日程等の順守	直前に日程や試験内容の変更を行うことは混乱をきたすため、当初の発表通りの実施をお願いしたい。
	—	—	2 共通テストの追試会場	追試は、感染症対策を講じ、2週間後に、各県に一か所以上の受験会場を設けてほしい。
	—	—	6 オンラインによる入試	回線不良などの事故時の対応

文部科学大臣 殿

全国高等学校長協会  
会長 萩原 聡

令和2年度の大学入学者選抜を終えて(要望)

全国高等学校長協会では、昨年10月上旬の「今年度の大学入学者選抜の実施状況の調査」に引き続き、新しい大学入試制度の下で、また新型コロナウイルス感染症まん延の中で、大学入学共通テストや一般選抜などが行われたことから、3月中旬に、全国の都道府県協会の会長を通じて大学入学者選抜の実施状況に関する調査を行いました。

全国の都道府県協会から、多岐にわたる意見が寄せられました。これをもとに、本協会として文部科学大臣あてに下記のとおり要望することとしました。文部科学省におかれましては、大学に対して必要な指導・助言を継続的に行っていただくとともに、次年度以降の大学入学者選抜の制度設計に生かしていただきますようお願いいたします。

記

- 1 貴省で定めた大学入学者選抜実施要項に示された日程等を順守するよう指導していただきたい。
- 2 感染症対策の観点から、共通テストの追試の会場を引き続き全都道府県に設けていただきたい。
- 3 コロナ禍の個別試験において、地方会場を増やしていくように大学に働きかけをしていただきたい。
- 4 新型コロナウイルス感染症に感染した受験生に対する救済措置が十全にとられるよう、大学を指導していただきたい。
- 5 新型コロナウイルス感染状況などにより入試方法等を変更した大学があったが、急な変更は受験生にとって不安となるため、周知方法等についての共通ルールを設定していただきたい。
- 6 新型コロナウイルス感染症への対応として、オンラインで入試を行う大学が増えてきているが、試験の公平・公正の確保や当日の通信トラブル等の事故対応などについて万全の体制で行われるように大学を指導していただきたい。